

## ○ 名古屋市腎友会の活動報告

・5月20(火)愛知県後期高齢者医療広域連合を役員6名で訪問。  
鈴木茂彦総務課長と1時間に渡って懇談。(以下内容を掲載)

①東京、三重、岐阜等全国8府  
県で公費投入して、保険料を下げ  
たが愛知広域連合として考えは？

②愛知、福岡、北海道等全国10  
道府県(7月1日山口が撤回)が障  
害者の事実上強制加入であり、国  
保の選択しても従来通りの医療費  
助成をしてもらえるのか？

③メタボリック検診の75歳以上  
が後期高齢者医療制度になるの  
で、検診・保健指導はうけられるの  
か？

回答

①②については変更なし、今まで通り

③名古屋市では40歳～74歳まではメタボリック検診・保健指導と  
も無料、75歳以上については検診は無料、しかし、保健指導は有  
料との回答がありました。



・5月29日(木)名古屋市議会議長と愛知県議会議長宛に陳情書  
を提出。

①愛知県(名古屋市)として公費投入(助成)のお願い

②障害者(65歳～74歳)が国保のままでも医療費助成の継続

・6月24日(火)県議会の一般質問に5名の役員で傍聴

民主党小山県議(西加茂郡選出)が後期高齢者医療制度について  
質問、健康福祉部長(小島)が答弁、県は障害者の助成について  
は変更なしと回答、議会は紛糾し休会となった。その後、超党派14  
人で国民皆保険制度の確立について意見書案を提出、可決され、  
国に見直しに取り組むよう要望。なお、出された誓願については継  
続審議となった。

## ○ 新役員紹介



臓器移植担当(副会長)



総務部長  
内田 貢朗



財政部次長



会計監査